



ダイバーシティ通信

学長からメッセージ



平成25年度に選定された「文部科学省科学技術人材育成費補助事業 女性研究者研究活動支援事業(一般型)」の取り組みも足かけ3年目(最終年度)を迎えました。昨年創刊した「ダイバーシティ通信」も第3号となり、ここにお届けできますことを本学学長として嬉しく思います。

室蘭工業大学が目指している「多様性(ダイバーシティ)に富んだ大学」の実現が近づいている実感がありますが、本学が「知の拠点」として重要な役割を果たしていくためにより一層の精進を重ねていく所存です。

11月13日には教職員のためのトップセミナーが上記プロジェクトの成果報告会と併催で開催されます。成果報告のほか日本レーザー社長の近藤宣之氏の講演がございます。

皆様ぜひご来場ください。

国立大学法人 室蘭工業大学 学長 空閑 良壽

室員からのコメント：

くらし環境系領域・助教 岸本 嘉彦

「男女共同参画推進」という取り組みに対し、「女性のための活動」あるいは「女性主導の活動」と思っている方が男女ともに多いように感じています。特に多くの男性は、どこか他人事のように感じてはいらっしゃいませんか。

男女が平等に活動できる社会の実現を目指すためには、既に男女が「対等に協力して」考えなくてはなりません。また、我が国においては、特に第二次大戦の頃から「男性が外で働き、女性が家庭を守る」という構図が一般的でしたが、これを「男性も女性も共に安心して働ける」環境に変えるためには、「共に協力して支え合う」必要があります。さらには、仕組みを作るよりも先に、まずは全員が共通認識をしっかり持つことが肝要です。

「男女共同参画推進」の活動とは、誰もが不幸にならない仕組みを作ることと言えます。本学の大半は男性が占めていますが、決して女性だけが要望を出せばいいと捉えずに、みんなが幸せになれる環境をみんなで考えて、まずは本学で実現していきましょう。



開催予告：

教職員のためのトップセミナー 2015・女性研究者研究活動支援事業 成果シンポジウム

11月13日(金) 14:30-16:00 大学会館多目的ホール

対象：本学全教職員(非常勤を含む)・一般の方

司会：木幡 行宏 男女共同参画推進室長

14:30~14:35 開会挨拶(空閑良壽 学長)

14:35~14:40 来賓挨拶(文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課)

14:40~14:50 「女性研究者研究活動支援事業の成果報告」(貞許礼子 特任教授)

14:50~15:00 「ライフイベント期の研究支援制度を利用して」(清末愛砂 准教授)

15:00~15:40 講演「多様性を受け止められるキャパシティ」

株式会社日本レーザー代表取締役社長 近藤 宣之 氏

講師略歴：

1968年 慶応義塾大学工学部 卒業

1968年 日本電子株式会社入社

1994年 日本レーザー代表取締役社長



15:40~15:45 質疑応答

15:45~15:55 JST 山村康子プログラム主管より挨拶

15:55~16:00 閉会挨拶(伊藤秀範 理事)

一般の方の事前申込みは11月11日まで受付中です。

教職員の方は11月11日までにメールでUFRに出欠をお知らせください。

平成27年度 男女共同参画推進室メンバー

担当理事：伊藤 秀範

室長：木幡 行宏 [くらし環境系領域・教授]

室員：伊藤 綾香 [入学試験グループ入学試験ユニットスタッフ]

(五十音順) 太田 香 [しくみ情報系領域・助教]

岸本 嘉彦 [くらし環境系領域・助教]

貞許 礼子 [くらし環境系領域・特任教授]

(女性研究者支援ユニット コーディネーター)

関 千草 [くらし環境系領域・助教]

津川 貴裕 [学生室ユニットリーダー]

永井 真也 [ひと文化系領域・准教授]

成田 幸仁 [もの創造系領域・准教授]

古屋 温美 [くらし環境系領域・准教授]

乙川 裕美 [女性研究者支援ユニット特定専門職員]

田嶋 学 [総務グループ職員ユニットスタッフ]

開催予告：

キャリア形成のためのランチセミナー第5回
「工業大学出身ならではの経験と仕事とは？」
10月20日(火) 12:00-12:45 A317室
(学生・院生対象)



講師：桑原 順子 氏

(学校法人 福岡工業大学 工学部生命環境科学科 准教授)

第5回目は、化学系・バイオ系で企画しました。講師は、福岡工業大学工学部生命環境科学科准教授の桑原順子先生です。九州工業大学で博士(工学)を取得し、現在は、未利用生物資源からのコラーゲン抽出や環境適応型材料開発などの研究に取り組んでいらっしゃいます。出産・育児と教育・研究活動とのバランスのとり方などもお話しただけだと思います。学生・院生・研究員の皆様、ぜひご参加ください。

氏名・学科(コース)・学年・E-mailアドレスを添えてUFRまでお早めにお申込みください(お弁当つきですので、ベジタリアンなど食事制限のある方はお申込み時にご相談ください)。申込み締切りは10月16日(金)です。

ご存知でしたか？ 本学では、以前より、

「会議は9時から17時の間での開催を原則とすること」

「毎週金曜日は定時一斉退勤日(金曜の夜間主コース関係者等は除く)」

となっております。

まだ一部の方にしか知られていないかもしれません。

すべての構成員がより生き生きと活躍できる室蘭工業大学のために

皆様のご理解ご協力をお願いします。

UFRで閲覧・貸出可能な本の一部を紹介します

皆様ぜひご利用ください。学内便での貸し出しも対応します。

旅と移動～鶴見俊輔コレクション3～（鶴見俊輔 著 / 黒川創 編）

河出書房新社

消える大学 残る大学～全入時代の生き残り戦略～（諸星裕）

集英社

赤ちゃんにきびしい国で、赤ちゃんが増えるはずがない。（境治）

三輪舎

崖っぷちで差がつく上司のイクボス式チーム戦略（日経DUAL編）

日経B P

ビジネスマンの君に伝えたい40のこと（近藤宣之）あさ出版

「産む」と「働く」の教科書（齋藤英和 / 白河桃子）講談社

職場のLGBT読本～「ありのままの自分」で働ける環境を目指して～

（柳沢正和 / 村木真紀 / 後藤純一）実務教育出版

新しいパパの働き方（NPO法人 ファザーリング・ジャパン）

学研教育出版

マタニティハラスメント（溝上憲文）宝島社

介護離職から社員を守る～ワークライフバランスの新課題～

（佐藤博樹 / 矢島洋子）労働調査会

女は後半からがおもしろい（坂東眞理子 / 上野千鶴子）集英社

ロールモデル集もぜひご覧ください。

科学者としての働き方。～現場で生きる9人のキャリアモデルファイル～

（科学技術振興機構）文部科学省

室蘭工業大学ロールモデル集～大学院を修了した先輩11名からあなたへ贈るメッセージ～（室蘭工業大学男女共同参画推進室）

研究支援員（学術研究員・技術補佐員・事務補佐員等）として働いてみたい方の支援員候補の登録受付（室工大支援員人材バンク）を開始しました。詳しくは男女共同参画推進室のWEBページの「支援内容のご案内」をご覧ください。

開催しました：

「学長と女性研究者の懇談会」

6月18日（木）12:00-13:00 本部棟中会議室

女性研究者の生の声をトップに届ける機会として昨年度から始めた「学長と女性研究者の懇談会」は今回が2回目です。今年度から学長となった空閑学長を迎え、出席者から本学の現状に関する情報提供や提案があり、本学の目指すべき男女共同参画やダイバーシティ&インクルージョン推進のあり方について等の意見交換をしました。

出席した女性研究者は教員14名・学術研究員1名、欠席は教員1名（育児休暇中）・博士研究員2名でした。この様子は翌日の室蘭民報夕刊で紹介されました。

トイレ整備、ハラスメント対策…

女性の意見 生かして



室蘭工業大学（空閑良樹学長）女性研究者支援ユニット主催の学長と女性研究者の懇談会18日、同会が開かれた。同日の男女共同参画推進に關連して、女性研究者たちの意見を踏まえた問題点や改善案、学生から寄せられた要望について、空閑学長と意見交換した。女性の教員14人と学術研究員1人、空閑学長の計16人が参加した。ハード面では「研究の社会合わせ、お茶休憩できる場所の充実を」と云々、トイレの整備をといった要望が出された。ソフト面では「出席後も働き続けられよう、子供を連れての仕事ができる環境、雰囲気作りを」と、大学の意思決定機関に女性の参画が必要、ハラスメントに対する教員の意識改革の徹底をといった意見が寄せられた。空閑学長は「意見を踏まえ、入念準備は生かして」と話していた。懇談会は昨年11月に続いて2回目。（成田真梨子）

2015年6月19日（金） 室蘭民報（夕刊）

室工大学長と研究者懇談

開催しました：

キャリア形成のためのランチセミナー第3回

「プロフェッショナルとして自分らしく生きる」

4月24日（金）12:00-12:45 A317室（学生・院生対象）

講師：福井 素子 氏（日本アイビーエム・ソリューション・サービス㈱ 代表取締役社長）



札幌に本拠地をおくIT企業の社長を務める福井氏を講師に迎え、33名が参加して開催されました。今回からランチセミナー初の試みとして、北海道大学女性研究者支援室のご協力により北大でも同時中継されました。セミナーの様子は28日（火）の室蘭民報で紹介されました。

参加者の感想から一部をご紹介します。

① 技術者としてのキャリアとは何であるか、仕事を通じて学んだことなどを分かりやすく、図で話して頂き、とても分かりやすく勉強になりました。また、時間と場所のフレキシビリティが重要だという話も、納得しました。

② 工大卒業生の方のメッセージはとても心に残りました。基礎知識はもちろん、人間性、メンタルが大事ということを知りました。次回も参加したいです。

③ IT企業のマネジメントを法学部出身の方が行っていることが興味深かったです。キャリア形成のために、「技術」(Expertise)だけでなく、「コミュニケーション能力」(Capabilities)、「問題解決能力」(Competency)が大切であるというのは案外盲点でした。

キャリア形成のためのランチセミナー第4回

「ママと宇宙エンジニアと大学院生」

6月29日（月）12:00-12:45 A317室（学生・院生対象）

講師：永松 愛子 氏（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 主任開発員）



JAXAの有人宇宙技術部門から永松氏を講師に迎えました。参加者は39名で、講演後には男性参加者からも熱心な質問がありました。今回も北大で生中継され、室蘭民報では30日（火）に紹介されました。

参加者の感想から一部をご紹介します。

① 社会人になってから大学院に行くという考えがあるということ、今回の講義で初めて知った。29歳から入社となると、結婚、出産、育児がキャリアアップに重なるという問題は不安であるので、今回の話で新たな視点に気付かせて頂き、参考になった。

② 宇宙ときいて、自分の分野とは関係あるのか不安だったが、遺伝子工学や放射線の人体への影響などの専門であったり、学科問わず得られること（国際協力、両立の工夫、大学院のこと）など知ることができてよかったです。社会人になるにあたっての必要なことやめになることをきけてとても良かったです。

③ 今回の講師の方は宇宙でしたが、僕の学んでいる生物工学の内容も出てきて、今まで宇宙系へ進むことは全く考えていませんでしたが、宇宙系へも視野を広げてみようと思いました。また男性の話も少し聞けて、よかったです。

ダイバーシティ通信 第3号（2015年8月）

国立大学法人 室蘭工業大学

男女共同参画推進室 女性研究者支援ユニット（UFR）

〒050-8585

北海道室蘭市水元町27番1号（教育・研究1号館 A331室）

TEL: 0143-46-5194 / FAX: 0143-46-5195

E-mail: ge_ufr@www.muroran-it.ac.jp

URL: http://www.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/

本誌および本学の男女共同参画等についてのご意見・ご要望をUFRまでぜひお寄せください。

男女共同参画推進室

Office for Promotion of Gender Equality

女性研究者
支援ユニット
Unit for Female Researchers

平成25年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業女性研究者研究活動支援事業（一般型）